

●この説明書は保守のため、必ずお客様にお渡しください。

- ・ご購入いただきありがとうございます。よくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ・製品の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

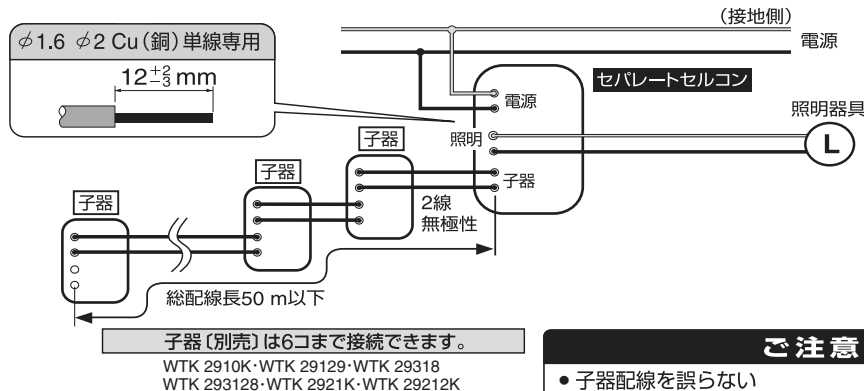
## 警告

- 施工は、取付方法に従い確実に行ってください。  
施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 製品を改造しないでください。  
落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧±6%)・周波数以外の電源で使用しないでください。  
感電・火災の原因となります。
- 照明以外の負荷機器(電動機器、空調機器など)の制御には使用しないでください。  
誤作動によるけがや事故の原因となります。
- 結線する場合、電源をOFFにして、電線を奥まで差し込んでください。  
差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、焼損や火災の原因となります。
- 製品を壁または傾斜天井に取り付けしないでください。

## 注意

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。  
落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度5℃～35℃以外では、使用しないでください。
- 誤結線や負荷側を短絡させないでください。また、子器配線を地絡させないでください。  
再使用できなくなります。
- 線間絶縁抵抗測定ではこの製品をはずしてください。  
※電線(電路)と大地間は取り付けたままでできます。

## システム配線図



### ご注意

- 子器配線を誤らない
- 配線の接続・解除時は、必ず電源をOFFにしてください

### 配線設計上の留意点

1. センサ子器は小勢力配線ですので電源線とアース線に接触しないように配線してください。  
配線の接続・解除時は、必ず電源をOFFにしてください。
2. セパレートセルコン 1台当たりの照明制御可能台数は、別記のとおりですのでご注意ください。
3. センサ子器を増設してセンサの検知範囲を広げる、または、センサの検知感度をよくする場合は、当社(パワー機器ビジネスユニット)のWTK 2910K〔別売〕、WTK 29129〔別売〕を使用してください。  
(詳細はWTK 2910K、WTK 29129の承認図を参照ください。)
4. 子器増設機能付子器〔別売〕WTK 2921K、WTK 29212Kを組み合わせると、子器を7台以上接続することができます。
5. 換気扇連動機能付子器〔別売〕WTK 29318、WTK 293128を組み合わせると、換気扇を制御することができます。
6. 負荷増設ユニット〔別売〕WTK 2958、WTK 29582を組み合わせると、照明器具を増設することができます。  
(WTK 29582は200V専用ですので、ご注意ください。)

# 負荷接続灯数 (ランプ本数・当社照明器具の場合)

**注** 1. HID負荷・特殊機能付照明器具 (調光機能付白熱灯など) には使用できません。

## LED 照明器具

(記号) は当社照明器具品番末尾の表記です。  
(- : 対応する負荷がありません。)

iD シリーズ (110形)	13400 lm タイプ		10000 lm タイプ		6400 lm タイプ		5000 lm タイプ		6900 lm タイプ		5200 lm タイプ		4000 lm タイプ	
	一般タイプ (LE2)	省エネタイプ (LE2)	一般タイプ (LE2)	省エネタイプ (LE2)	一般タイプ (LE9)	省エネタイプ (LE9)	一般タイプ (LE9)	省エネタイプ (LE9)	一般タイプ (LE9)	省エネタイプ (LE9)	一般タイプ (LE9)	省エネタイプ (LE9)	一般タイプ (LE9)	省エネタイプ (LE9)
100 V	-	-	-	-	10	14	10	14	10	12	14	17	18	18
200 V	10	12	14	16	21	27	21	27	21	25	27	34	36	36

iD シリーズ (40形)	3200 lm タイプ		2500 lm タイプ		2000 lm タイプ		iD シリーズ (20形)	3200 lm タイプ		1600 lm タイプ		800 lm タイプ		直管 LED	LDL40 (LT9)	LDL40 (LE9)	LDL20 (LT9)
	一般タイプ (LE9)	省エネタイプ (LE9)	一般タイプ (LE9)	省エネタイプ (LE9)	一般タイプ (LE9)	省エネタイプ (LE9)		一般タイプ (LA9)	省エネタイプ (LA9)	一般タイプ (LE9)	省エネタイプ (LE9)	一般タイプ (LE9)	省エネタイプ (LE9)		17	17	41
100 V	23	29	23	21	34	34	16	32	27	52	52	116	17	17	41		
200 V	44	58	44	44	64	64	32	64	52	116	116	35	35	82	82		

## LED 照明器具の接続台数

LED 照明機器			台数、または容量	B の計算式	C の計算式
A	電源ユニット内蔵型	消費電力	0.2 W 以上 9 W 未満	LED 照明器具の設置台数 ≤ $\frac{\text{接続容量 } 240 \text{ W}}{\text{LED 照明機器の消費電力}}$	LED 照明器具の設置台数 ≤ $\frac{\text{接続容量 } 240 \text{ W}}{\text{電源ユニット 1 台に接続可能な LED 照明器具台数}} \times \text{電源ユニット 1 台に接続可能な LED 照明器具台数}$
B	電源ユニット別置型	消費電力	9 W 以上		
C	電源ユニット別置型	消費電力	240 W		

## インバータ照明器具

PSインバータ (ENH)	16形 ツイン3	18形 ツイン3	24形 ツイン3	27形 ツイン3	32形 ツイン3	36形 ツイン	40形 ツイン	42形 ツイン3	55形 ツイン	96形 ツイン	110形 ツイン
100 V	29	21	23	21	17	17	18	14	14	-	-
200 V	-	-	53	-	29	34	34	25	28	17	15

PSインバータ (ENV)	96形 ツイン	110形 ツイン	PCインバータ (EYH)	96形 ツイン	110形 ツイン	PSインバータ (ESH)	36形 ツイン	110形 ツイン	GHi インバータ (WF)	63形 ツイン
100 V	8	7	100 V	8	7	100 V	-	9	100 V	11
200 V	17	16	200 V	17	16	200 V	47	17	200 V	21

PCインバータ (EDH)	20形 ツイン	27形 ツイン	36形 ツイン	40形 ツイン	Hfインバータ (PH-SPH)	16形 ツイン	32形 ツイン	54形 Hfスリム	Hfインバータ (VPH)	32形 ツイン
100 V	29	23	-	18	100 V	29	15	12	100 V	16
200 V	30	-	13	36	200 V	57	22	26	200 V	32

Hfインバータ (PX-PV)	16形 ツイン	24形 ツイン3	32形 ツイン3	42形 ツイン3	45形 ツイン	54形 Hfスリム	86形 ツイン	Hfインバータ (PS-MS)	23形 ツイン	32形 ツイン
100 V	29	27	16	16	16	13	8	100 V	30	24
200 V	57	31	29	31	29	27	17	200 V	53	50

Hfインバータ (ENM)	16形 ツイン3	32形/40形 ランプフリー	24形/32形/42形 ツイン3	57形 ツイン3	62形/82形 ツイン4	Hfインバータ (PN-VPN-SPN)	32形 ツイン	45形 ツイン	86形 ツイン
100 V	38	19	16	12	8	100 V	21	16	8
200 V	72	39	29	24	18	200 V	33	20	17

Hfインバータ (PE-PD)	16形 ツイン	24形 ツイン	32形 ツイン	50形 ツイン	Hfインバータ (PT)	16形 ツイン	32形 ツイン	50形 ツイン	Hfインバータ (PF-PJ)	32形 ツイン	86形 ツイン
100 V	-	-	16	-	100 V	29	16	9	100 V	16	6
200 V	27	29	32	22	200 V	62	28	14	200 V	32	11

蛍光灯・白熱灯		L: 低力率蛍光灯 H: 高力率蛍光灯 (-: 対応する負荷がありません。)												白熱灯	
		10形		20形		26形/30形/32形		36形		40形		65形			110形
電子スタート式 (EL-EH)	100 V	-	34	32	22	19	11	16	8	14	8	10	5	-	800 W まで (100 V 用)
グロー式 (GL-GH)	200 V	-	-	-	-	36	-	34	18	32	8	22	11	-	1600 W まで (200 V 用)
ラビッド式 (NH-UH-SUH)	100 V	-	-	27	-	20	-	-	-	17	-	-	-	6	
	200 V	-	-	51	-	38	-	-	-	33	-	-	-	13	

# 施工後の設定方法と動作確認

## 1. 動作の確認

- 点灯保持時間設定のつまみが「10秒」になっていることを確認してください。
- EEセンサのつまみを設定してください。→「切」に合わせてください。
- 電源を入れて検知範囲の外でお待ちください。  
約50秒間点灯した後、消灯状態になります。
- 検知範囲内に入ってください。(検知動作速度0.3 m/s~1 m/s) 照明器具を確かめながら行ってください。  
器具が点灯します。
- 再度検知範囲の外にでてください。約10秒(多少バラツキがあります)後、器具は消灯状態になります。  
(「連続入」から「時間設定」に切り替えた場合には、一度照明器具が消灯してから検知範囲を確かめてください。)

## 2. スイッチ設定

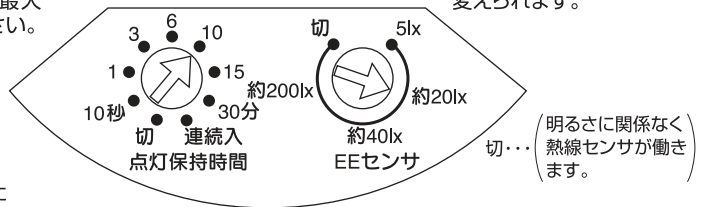
- つまみは製品の正面にあります。
- つまみ位置は工場出荷状態をあらわします。

●人の出入りが多く、照明器具の点滅頻度も多くなる所は最大(約30分)に設定してください。

注1) 設定時間が短いと、頻繁に点滅を繰り返し、蛍光灯ランプの寿命が短くなります。

注2) 「カチッ」と止まる位置に合わせてください。クリック感のない中間位置に合わせても中間の時間にセットできません。

●熱線が動く周囲の明るさが変わります。



### ●点灯保持時間の設定

- (最後に人を探知してから消灯までの時間)
- 設定したい時間につまみを合わせてください。

10秒 …… 施工時動作確認用

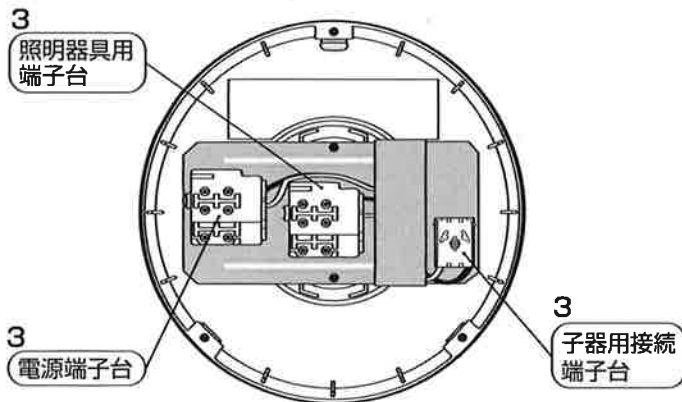
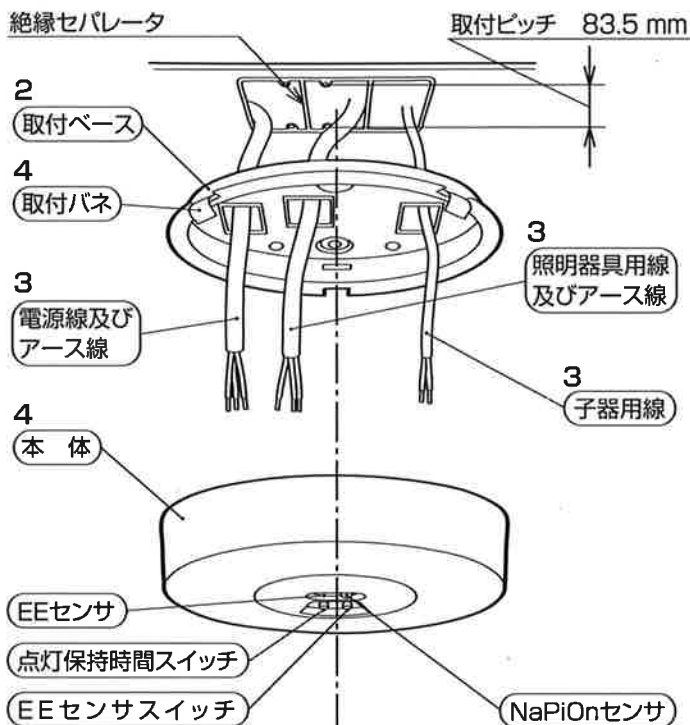
1~30分 …… 任意選択してください。

連続 …… ひと(熱線)センサ、EEセンサに関係なく連続点灯します。

切 …… ひと(熱線)センサ、EEセンサに関係なく消灯します。

# 各部のなまえと取り付けかた

注)埋込ボックスをご使用される場合は、3ヶ用スイッチボックスにボックス用絶縁セパレータを設置し電源線と負荷線と子器線を分けて配線してください。



## 1. 取付前の確認

- 器具質量(0.64 kg)に十分耐えるよう、ネジ取付部(ネジの掛かり代)の強度を確保する。  
不備があると器具落下の原因となります。

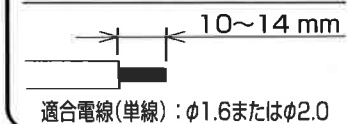
## 2. 取付ベースの取付

- 本体をベースから取り外す。  
(出荷時は、取付ベースと本体は取付バネで嵌合してあります。)
- 電源線、負荷線、子器線を取付ベースの各引込穴から引き込んでおく。
- 取付ベースをネジで確実に取付ける。  
(木ネジをご使用の際は、丸木ネジの呼び4.1以上を使用する。)

## 3. 電源線・照明器具用線・子器用線の接続

- 電線を本体の端子台に確実に接続する。
- D種(第3種)接地工事が必要。
- 電源端子台の送り容量は、20 Aです。
- 子器(別売)は6コまでです。

### 電源線・照明器具用線・子器用線(速結式)



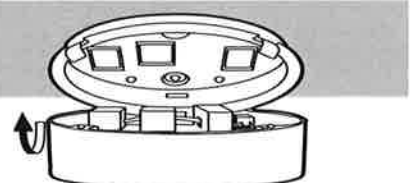
接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。

- 電源端子台と照明器具用端子台は、間違えない様接続を行ってください。
- 結線終了後、電線にねじり力など無理な力が加わらない様処理を行ってください。

## 4. 本体の取付

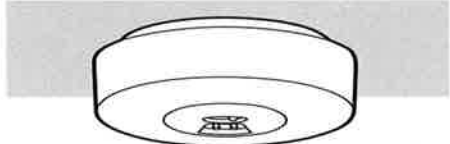
- 本体を取付バネで確実に取付ける。  
不備があると器具落下の原因となります。

(1)取付ベース角穴に本体を引っ掛ける。

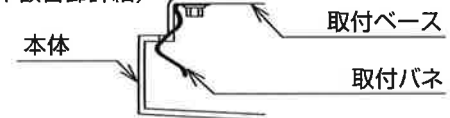


(2)電源線・照明器具用線・子器用線をしっかり天井へ押し込んでください。

(3)本体を下から押し上げ、取付ベースのバネに確実に取付ける。



(バネ嵌合部詳細)



~施工完了~

# 使用上のご注意

- 省エネを保つために年1回の清掃をおすすめします。
- ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。  
雑音が入ったり正常に動作しない場合があります。
- 同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。  
事前に確認し、対策を講じてください。

**取扱説明** お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

## 安全に関するご注意

### 警告

- 製品を改造しないでください。感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

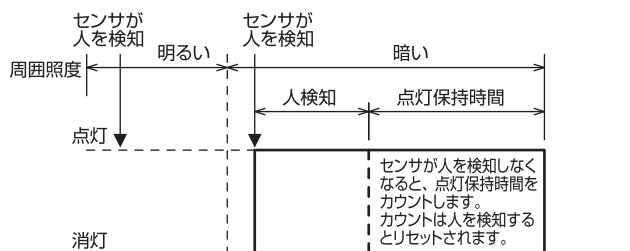
### 注意

- お手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- 製品には寿命があります<sup>\*1</sup>。3～5年に一回は、工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切に処置してください。放置すると、火災の原因となることがあります。
- 照明器具のお手入れは、必ず製品正面のつまみを「切」にして行ってください。点灯保持時間のつまみを「切」に合わせないと、けがや事故の原因となります。

<sup>\*1</sup>照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な目安は8～10年です。

## 動作について

### 基本動作について



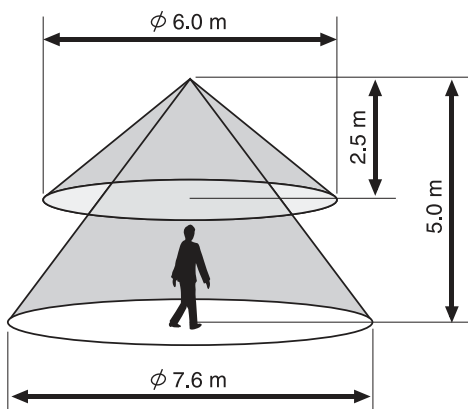
■点灯保持時間終了後、消灯します。

### (電源投入時の動作について)



■電源投入されますと、約50秒間は人検知に関わらず強制点灯します。(点灯保持時間、10秒の場合)  
センサウォームアップ時間後、人がいなければ消灯し、人を検知すれば点灯を継続します。

### 検知範囲



注) 検知エリア内でも小さな動きは検知できない場合がありますのでご注意ください。

- 夏期、周囲温度と人体の温度があまり変わらないとき、感度が鈍く感じる場合があります。
- 階段などに設置された場合、感度が鈍く感じる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 検知範囲は、センサからの距離によって異なります。したがって、検知したい高さにより検知範囲を確認してください。
- 取付高さが高くなればなるほど、検知ゾーンの抜け(検知ゾーンの無いところ)が大きくなります。したがって、より大きな動作でないとセンサが検知しなくなります。使用環境・対象動作などにより異なりますが、取付高さは5 m以下で使用ください。

※ただし、2.8 mを超える場合、感度が鈍くなる場合があります。

## 器具配置上の留意点

(ひと(熱線)センサに関して)

1. パーテーション等の遮へい物がある場合は、検知できません。
2. 執務室や会議室など、人の動きが小さいところでの使用はお避けください。センサの検知感度が鈍くなり人を検知しにくくなります。取付高さは5 m以下で使用ください。ただし2.8 mを超える場合、感度が鈍くなる場合があります。
3. 太陽光などの強い光源の直接照射、エアコンなどの気流など、人以外の熱源にも反応することがありますのであらかじめご了承ください。

## 故障かな? と思った時は

表に従ってお調べいただき、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

不具合モード	考えられる原因	処 置
人がいるのに消灯する	動作が小さく、人が検知できない。	点灯保持時間を長めに設定してください。
	センサの検知範囲が遮へいされ人体を検知できない。	遮へい物を取り除くか、センサ子器の増設が必要です。
	レンズが汚れ、検知感度が低下している。	レンズの汚れを拭き取ってください。
	周囲温度が高く、検知感度が低下している。	室温調整または点灯保持時間を”連続”にしてください。
人がいないのに点灯する	太陽光など強い光が急に入射した。	現象が度重なり不快な場合は、遮へい等の対策の検討をしてください。
	空調気流がセンサにあたった。	
	人以外の熱源に反応している。	
	検知範囲内のブラインド、カーテンなどが動作した。	
点灯のまま動かない	点灯保持時間スイッチが”連続”になっている。	点灯保持時間スイッチの設定を変更してください。

## 保証について

### 保証について

この製品の保証期間は1年間です。

### 保証書について

保証書が必要な場合は、当社代理店または、当社営業所へお申し付けください。

## お手入れ ⚠ 注意 (必ず電源を切ってください。感電の原因となります。)

### ●製品の清掃について

- ・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
- ・シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質・強度低下による破損の原因となります。
- ・製品のランプおよび、EE センサ部分は1年に1回必ず清掃してください。汚れにより照明特性が変わるおそれがあります。(省エネ効果が小さくなります。)

パナソニック株式会社 ライティング機器ビジネスユニット 〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明と住まいの設備・建材お客様相談センター

0120-878-709(フリーコール) 0120-872-460(FAX)

© Panasonic Corporation 2012-2016

8A2 667 0000 8  
DC0410DC31116